

# 平成29年度創造性育成フォーラム

## 事例発表 「学生プロデュース科目」 (博士課程)

リベラルアーツ研究教育院  
金子宏直、原田大介、猪原健弘

## 博士教養科目の設計理念

東京工業大学大学院博士後期課程の学生が身につけるべき「教養」とは何か？ 世界最高水準の理工系の研究を行うには、自らの専門分野に限定されない幅広い知識、他分野の研究の意義を理解し吸収・活用する応用力や創造性、多様な人材と交流し「知」のネットワークを広げる柔軟性や学際性が必要である。

### 「学生プロデュース科目」概要（シラバスより）

本科目の履修者は、こうした博士後期課程学生に必要な「教養」を身に付けるための「**教養先端科目**」の内容を自ら設計していく。具体的には、博士後期課程学生が取り組む「**教養先端科目**」の包括的なテーマを決定後、**専門家に講演を依頼し、授業の運営法、発表会の運営法や広報の方法**について検討する。

本科目のねらいは、履修者が博士後期課程の教養科目を自律的に「設計」することを通じて、先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、**博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造**するところにある。

### 「教養先端科目」概要（シラバスより）

本科目の履修者は、こうした博士後期課程学生に必要な「教養」を身に付けるために、**講演会・少人数グループワーク・発表会を経験**する。

本科目のねらいは、履修者が先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、異分野の研究者と協力して、**博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造**するところにある。

# 博士教養科目(学生プロデュース科目と教養先端科目)の全体像

全学の博士後期課程学生の選択必修科目。下記の科目群から**2単位以上**を取得。  
(学生プロデュース科目と教養先端科目は各1単位、PTは各2単位(履修条件あり))

4Q

1Q

2Q

3Q

4Q

1Q

## 学術学会の「運営」を学ぶ

学生  
プロデュース  
科目1・5

学生  
プロデュース  
科目2・6

学生  
プロデュース  
科目3・7

学生  
プロデュース  
科目4・8

その年度の  
博士教養科目の全体計画(年間テーマ、各Qのテーマ、講演候補者リスト、など)を作成する。

各Qで、ポスター発表会・ミニシンポジウム開催、講演依頼、広報、表彰、ジャーナル作成。次のQに引継ぎ・準備(プレミアムメンバー)。

教養先端  
科目1・4

教養先端  
科目2・5

教養先端  
科目3・6

各Qとも、グループによる共同研究の成果のポスターを作成、ポスター発表会で発表、ミニシンポジウムに参加。

## 学術学会の「発表」を学ぶ

教養先端  
科目PT1

夏季・春季  
集中講義  
(予定)

教養先端  
科目PT2

# 受講者数(最大)

博士教養科目全体で、1年間1,000名超の受講を想定。



# 講義日程

社会人学生、学会参加等に配慮し、各Qとも、概ね隔週の土曜日に1-4限(9:00-12:15)の授業を4回実施。最終回にポスター発表会とミニシンポジウムを開催。

# ポスター発表会・ミニシンポジウムの 開催実績(2016年度、3回)

## Beyond Prevention of Tokyo Disaster, Science and Technology

30th, July, 2016 (Sat.) West-9, Ookayama  
Tokyo Tech. Liberal Arts Mini-Symposium

第1回: 2016年7月30日(土)

### Poster Presentations

in front of Multi-Purpose Digital Hall

9:00-10:30 Poster

Path-Breaking Liberal Arts Courses



### Special Lectures

at Multi-Purpose Digital Hall

10:45- Opening Remarks

10:50- Special Lecture

*Vice President Prof. Makoto Ando*  
*Wireless Communication Systems*  
*and Disaster Prevention*

11:15- Special Lecture

*Prof. Junichi Nakajima (Dept. of EPS)*  
*Seismotectonics beneath Kanto*

11:40- Award presentation and Closing Ceremony

Independent Studies Courses

Assoc. Prof. Hironao Kaneko

Prof. Takehiro Inohara

Assoc. Prof. Daisuke Harada

Contact: kaneko.h.ad-contact\_dlas01@ml.m.titech.ac.jp

第2回: 2016年11月12日(土)

### 第2回東工大リベラルアーツミニシンポジウム

東京防災を超えて - 情報と災害への対応 -

2016/11/12(土)  
大岡山キャンパス 西9号館

#### ポスターセッション

場所 : コラボレーションルーム及び  
メディアホール

時間 : 09:00 - 10:30

教養先端科目学生(博士課程)によるポスター発表

#### 特別講演

場所: デジタル多目的ホール

10:45

金子先生による開会挨拶

10:50

特別講演1:

寺田曉彦先生(理学院)  
“火山の災害と恵み”



11:15

特別講演2:

高木泰士先生(環境・社会理工学院)

“予期せぬ災害と合理的な避難 - アジアの沿岸域災害  
研究を通じて考える”



11:40 表彰・講評

11:50 三島学長による表彰  
講評



※なお、講演等に変更がある場合があります

学生プロデュース科目学生(博士課程)

金子宏直 准教授(リベラルアーツ研究教育院)

猪原健弘 教授(リベラルアーツ研究教育院)

原田大介 准教授(リベラルアーツ研究教育院)

連絡先: kaneko.h.ad-nontact\_dlas02@ml.m.titech.ac.jp

第3回: 2017年1月21日(土)

### 第3回東工大リベラルアーツミニシンポジウム

東京防災を超えて

- 持続可能な社会と経済 -

2017/1/21(土) 大岡山キャンパス 西9号館

#### ポスターセッション

会場: コラボレーションルーム及びメディアホール

時間: 09:00 - 10:30

教養先端科目履修学生(博士後期課程)によるポスター発表

\*ポスターセッションは本学教職員、学生のみの公開となります。

#### 特別講演

会場: デジタル多目的ホール

10:40 オープニング(金子宏直)



10:45- 特別講演 1「熊本大学避難所で私たちができたこと〜熊本地震からの教訓〜」  
安部美和(熊本大学・特任助教、地域創生推進室)

11:05- 特別講演 2「原発事故からの避難と地域社会」  
遊橋裕泰(静岡大学大学院総合科学技術研究所・准教授)

11:25- 特別講演 3「災害時の医療機関の役割」  
岡崎裕司(関東労務病院・副院長、地域連携室)

11:45- 講評  
水本哲弥(東京工業大学副学長)



11:50- ポスター表彰および閉会式  
講演者、水本副学長、和田雄二(東京工業大学物質理工学院長)

#### 懇親会

会場: コラボレーションルーム

時間: 12:30 --

参加費: ¥500(学生)、¥1,000(教職員等)

準備担当: 学生プロデュース科目(博士後期課程)

金子宏直准教授、猪原健弘教授、原田大介准教授(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院)

連絡先: kaneko.h.ad-ont170121@ml.m.titech.ac.jp

# 2016年度 東工大リベラルアーツミニシンポジウム 「東京防災を超えて」年間開催報告

## 東工大ニュース

<http://www.titech.ac.jp/news/2017/039016.html>

(短縮 <https://goo.gl/7uiNoq>)



# 授業内・授業外の活動(1/5)

～ 「通常メンバー」(=学生プロデュース科目の受講が1回目)の学生場合 ～  
(「プレミアムメンバー」(=受講が2回目)の学生は別活動)

1日目:グループを作る。

## 1-2限

- ・ランダムに受講生同士で2人組を作る。
- ・2人組内で自己紹介をする。
- ・クラス全体にパートナーを紹介する。

## 3-4限

- ・2人組2つで4人グループを作る。
- (講義)委員会(総務、企画、編集)の説明
- ・各グループの所属委員会を決定する。

## 課題:

自分が実際に所属している学会の基本情報(設立目的、活動内容、運営組織)を調べる。



# 授業内・授業外の活動(2/5)

2日目: 学会を知る。

## 1-2限

(講義) 組織という仕組みの必要性

- ・1日目の課題のグループによる報告
- (講義) 各委員会の活動の説明と1Qからの引継ぎ、および、科目の目標の確認(統一テーマを扱う学際的学会の創設と運営)

## 3-4限

(講義) グループワーク技法(BS、KJ)

- ・各委員会の3日目の作業の検討
- ・各委員会の検討結果の文書化と報告

## 課題:

各グループのディスカッションの内容をまとめる。



# 授業内・授業外の活動(3/5)

## 3日目:ミニシンポジウムの準備計画

### 1-2限

(講義)テーマ決定の経緯

- ・次Qの講演候補者の選定、連絡担当者決定



プレミアムメンバーへ

### 3-4限

・ポスター発表会、ミニシンポジウムの具体的内容の決定

- ✓ ポスターセッション開催準備(ポスターのノミネーション、会場設営、パネル設置、小物)
- ✓ シンポジウム開催準備(タイムテーブル、司会進行、ゲスト講演、表彰)
- ✓ ゲスト講演者ケア
- ✓ 懇親会
- ✓ 撤収

### 課題:

各委員会の作業など具体的な事項を文書化する。



# 授業内・授業外の活動(4/5)

## 4日目:ミニシンポジウムの支援

### 1-2限

- ・受付設置
- ・ポスター発表会 会場設営
- ・ミニシンポジウム 会場設営
- ・ポスター発表会 実施運営
- ・表彰のための投票管理



### 3-4限

- ・ミニシンポジウム 実施運営
- ・表彰
- ・懇親会
- ・撤収



### 課題:

ミニシンポジウムの振り返り、次Qへの引継ぎ事項の文書化。ジャーナルの作成。



プレミアムメンバーへ

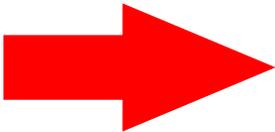


# 授業内・授業外の活動(5/5)

～ プレミアメンバーの場合 ～

「プレミアムメンバー」(＝受講が2回目)の役割

- 各委員会について、QとQの間の継続性の維持と引継ぎ管理
- 講演依頼担当者としてQが始まる前に連絡を開始
- 各委員会、および、全体のリーダー
- グループワークのファシリテーター



博士後期課程全体の、さらには、本学全体の、「知の交流」を促進する場の創造のリーダーへ。

# 2016年度 東工大リベラルアーツミニシンポジウム 「東京防災を超えて」年間開催報告

## 東工大ニュース

<http://www.titech.ac.jp/news/2017/039016.html>

(短縮 <https://goo.gl/7uiNoq>)



本学全体の「知の交流」を促進する場の創造に向けてご協力をお願いいたします。